

ITS情報通信システム推進会議
路側通信システム専門委員会
17年度活動報告および18年度活動計画

平成18年5月
路側通信システム専門委員会

路側通信システム専門委員会

専門委員長:宮島 耕治(NTTデータ)

DSRC規格TF

主査:柳内 洋一(NEC)

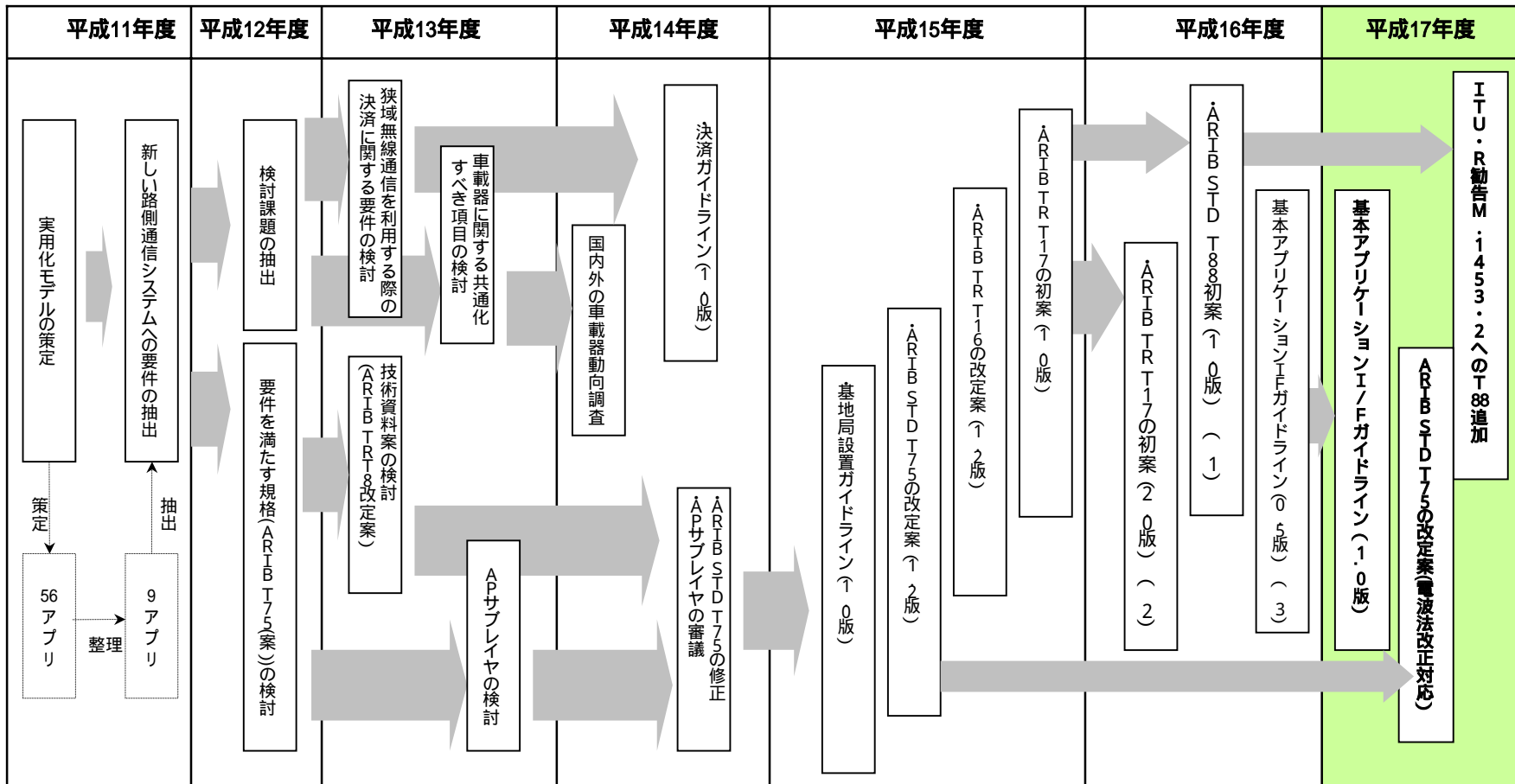
DSRC国際対応TF

主査:小山 敏(日立)

DSRC基本アプリケーションインタフェース検討WG

主査:三木 宏(松下電器)

主要標準化検討内容



専門委員会

2回開催

- DSRC普及促進検討会等外部機関と連携を取りながら、普及活動をおこなった。

DSRC規格TF

10回開催

- 世界無線会議(2003)でスプリアスの規定が改正され、これに伴って対象となるT75について変更箇所の検討および、修正作業を行った。また、外部団体からの、T75ローカルポート制御プロトコルの解釈についての要請に応えたり、プロファイルに関する見解の再確認や、他の通信方式の動向について検討した。

DSRC国際対応TF

8回開催

- 継続的に欧米およびアジア圏でのITS関係者と意見交換をし、本邦の技術のアピールの行うとともに、諸国の状況や課題を参考に、国内の技術開発に良い部分を取り入れることができるように情報収集を行った。Land Mobile HandbookのITS編のドラフトへは、積極的に貢献した。また、ITS世界会議(サンフランシスコ)の動向を分析するなど、動向調査研究を行った。

DSRC基本アプリケーションインターフェイス検討WG

11回開催

- 実用化に向けた具体的作業として、DSRC車載器上で動作することを想定した基本アプリケーションにおけるT88とアプリケーションとのインターフェイスについて、昨年度に引き続き検討し、これらをまとめてガイドライン(1.0版)とした。

DSRC規格TF

(1) 標準化活動

- ・電波法令改正に関する意見交換
- ・電波法施行規則等の一部改正にともなう変更作業
- ・規格改善の検討 通信プロファイルの考え方 / 動的プロファイル選択方式

(2) 普及促進活動

- ・DSRC普及促進検討会の作業部会への参加
- ・外部からの技術的な問い合わせへの対応

(3) 新技術の検討

- ・海外動向の調査、新技術の整理、現状規格の参考検討を実施

DSRC 国際対応TF

(1) 標準化活動

DSRC ARIB STD-T75のITU-R勧告改訂

ARIB STD-T88の追加 ITU-R勧告M.1453-2へ

(2) 情報交換および動向調査活動

・アジア太平洋電気通信標準化機関(ASTAP)

日本 = ITS専門家会議議長として、積極的参加

・IEEE802.11やIEEE P1609会合に出席

(3) 海外との連携、検討参加

・Vehicle Safety Communication(VSC) International Meeting
への参加 平成17年(2005年)5月

・外部機関との密接な連携によって推進

DSRC基本アプリケーションIF検討WG

昨年度までの原案(0.5版)に対して、次の2点の改定を実施。

- (1) アプリケーションインタフェースの**カテゴリ分類**
～ 整合性の観点からカテゴリ分類

カテゴリ1 基本的なDSRCサービスに対応するための機能を提供するアプリケーションが属するカテゴリ

車載器指示応答アプリケーション

車載器メモリアクセスアプリケーション

ICカードアクセスアプリケーション

プッシュ型情報提供アプリケーション

カテゴリ2 事業者個別の専用のアクセス制御機能を提供するアプリケーション及びカテゴリ1のアプリケーションに機能包含されているアプリケーションが属するカテゴリ

車載器ID通信アプリケーション

車載器基本指示アプリケーション

- (2) 車載器メモリアクセスアプリケーションの**見直し改定**

～ 官民共同研究のリクワイアメント 審議・改定 改定版を意見照会

6つの基本アプリケーション

車載器指示応答アプリケーション

~路側機の指示情報通知に対し車載器が応答

車載器メモリアクセスアプリケーション

~路側機から車載器のメモリに書込み、読み出し

ICカードアクセスアプリケーション

~ICカードへの決済情報を送受信

プッシュ型情報通信アプリケーション

~多様な情報をパッケージして路側機から車載器へ提供

車載器ID通信アプリケーション

~路側機が車載器を同定し、車載器が応答

車載器基本指示アプリケーション

~路側機から車載器に対して指示情報を通知

H17年度活動報告:基本アプリIF-WG

各種DSRCサービスに要求される機能と基本アプリケーションインタフェースとの対応例

		車載器 指示 応答 AP	車載器 メモリ アクセス AP	ICカード アクセス AP	プッシュ 型 情報配信 AP	車載器 ID 通信 AP	車載器 基本指示 AP	
料金決済	カード決済システム	車載器に対する各種の指示機能 (ETCシステムと同様若しくは 拡張した機能) 車載器の固有情報(ID)にア クセスする機能 車載器内のメモリにアクセスす る機能 (利用情報の蓄積等)						
	車両の固有情報を 管理するシステム	車載器に対する各種の指示機能 (ETCシステムと同様若しくは 拡張した機能) 車載器の固有情報(ID)にア クセスする機能 車載器内のメモリにアクセスす る機能 (利用情報の蓄積等)						
情報授受	画像表示装置と 連携した情報提供	IP接続により情報提供サーバに 接続し、車載器からの要求で情報 にアクセスする機能 (レポート/レスポンス型情 報提供) 提供サーバ側のURLや各種情報を情報提供 サーバ側から車載器に配信する 機能 (プッシュ型情報提供)	アプリケーションは車載器に実装されず、 カーナビ・車載PCなどに実装される					
	車両の固有情報を 管理するシステム	車載器に対する各種の指示機能 (ETCシステムと同様若しくは 拡張した機能) 車載器の固有情報(ID)にア クセスする機能 車載器内のメモリにアクセスす る機能 (利用情報の蓄積等)						

ガイドラインの目次 (名称:RC - 004 1.0版)

- ・ **第一章 (一般事項)** ・目的、適用範囲
- ・ **第二章 (概要)** ・アプリケーションの定義とインタフェースの想定
・機能概要 ・ローカルポート番号
- ・ **第三章 (基本アプリケーションインタフェース仕様)**
・機能概要 ・コマンド定義 ・データ構成定義
・シーケンス例 ・他規格との関連
- ・ **第四章 (用語)**

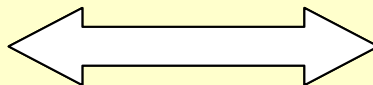
- ・ **付録A** : DSRCサービスと基本アプリI/Fの関係
- ・ **付録B** : セキュリティプラットフォームとの関係
- ・ **付録C** : 基本アプリI/Fのサービス適用例

機能構成図

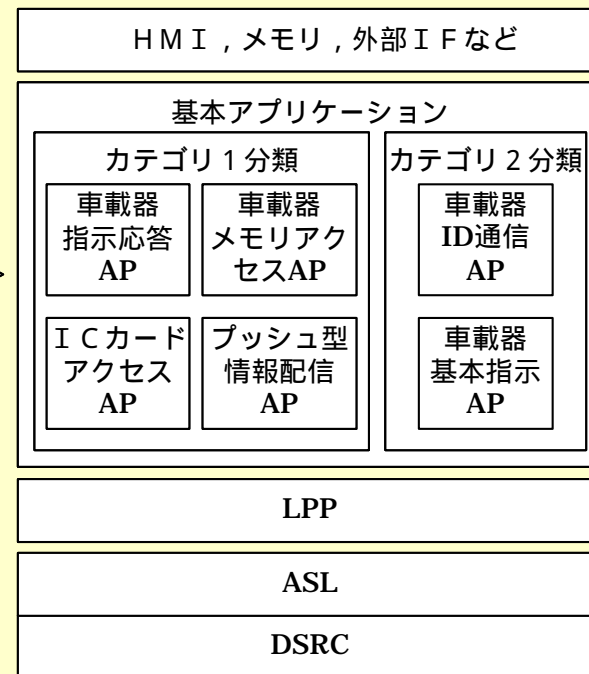
< DSRC路側システム >



アプリケーション インタフェース

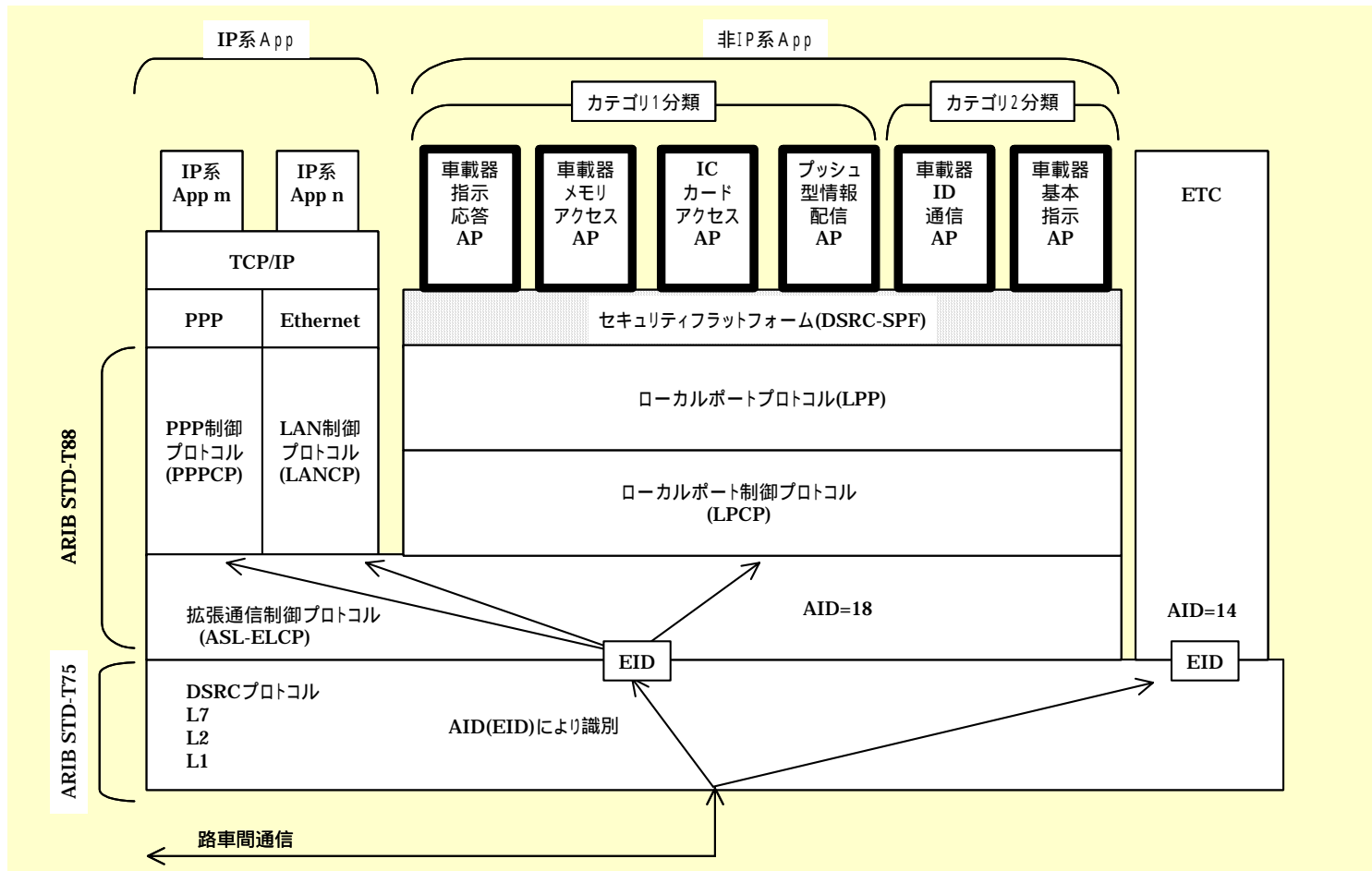


< 標準DSRC車載器 >



H17年度活動報告:基本アプリIF-WG

基本アプリケーションIFの protokol 上の位置づけ



18年度活動方針

路側通信システム専門委員会

- IT新改革戦略に係る安全系サービスへの検討
- マルチメディアへのDSRCの対応の検討
- PUSH型情報配信サービスや大容量化に係る検討

DSRC規格TF

- 技術動向調査と外部との意見交換を通じた普及促進活動
- 現状のDSRCと親和性がある大容量無線通信方式の検討
- DSRCを含んだマルチメディア通信(携帯電話、無線LAN、地上波デジタルなど)に係る、シームレスで安定した路側通信の検討

DSRC国際対応TF

- ITU-R SG8 WP8A及びASTAP ITS専門家会議における活動
- DSRCマルチアプリケーションに関する国際的なプロモーション
- VSCに関する国内外協調活動
- アジア・太平洋地域及び欧米等DSRC国際協調及び情報収集活動